

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 事業提案書

【申請団体】

申請団体名 <small>（協議体の場合のみ）</small>	特定非営利活動法人フラガールズ甲子園
代表団体名 <small>（申請団体の）</small>	
代表者の職・氏名	理事長 小野 英人
協議体構成団体①	
協議体構成団体②	
協議体構成団体③	
協議体構成団体④	

【団体情報】

団体ホームページ	http://npo-hulagirls.com
又は公開予定日	常時

※情報公開を行っておらず、かつ公開する見込みのない団体については応募できません。

1 事業名

フラガールのふるさといわき推進事業

第1弾「いわきフラウィーク」

第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」

2 事業の目的及び地域課題（200字以内）

原子力災害により観光都市いわきの位置づけが、壊滅的打撃を受けました。
風評被害解消の一助になれるよう全国規模の大会を開催しようとするものです。

3 事業の必要性（200字以内）

・第1弾「いわきフラウィーク」

一週間の開催期間に於けるイベント

参加団体数 50 団体 参集者(市内外)5,000 人～20,000 人(8日間)見込み

・第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」

参加校 15 校 160 人（昨年実績）

4 事業内容

【実施取組1】

第1弾「いわきフラウィーク」

主な活動地域：福島県いわき市

実施期間：H27/8月～H27/8月末

【取組内容】（100字以内）

日時 平成27年8月

内容 市内各店舗・ライブスタジオ・公共施設・メイン街道

フラガールズ甲子園開催前1週間市内各所にてフラに関するイベント

- ・ハワイバンド演奏
- ・フラ舞踊ショー
- ・街頭フラッグの掲示
- ・ワークショップ

【実施取組2】

第2弾「全国学生フラフェスティバル2016inいわき」

主な活動地域：福島県いわき市

実施期間：H28/2月～H / 月末

【取組内容】（100字以内）

日時 平成28年2月（日程詳細は今後決定）

場所 スパリゾートハワイアンズ他

内容 全国から15の大学・短大及び専門学校を募集し160名の参加を見込む

- ・エキジビションショー
- ・各大学交流会
- ・慰問活動

※実施取組に合わせて、数を追加してください。

5 事業効果（各200字以内）

直接的効果

第1弾「いわきフラウィーク」

一週間のイベント開催による交流人口の拡大に繋がり、市民各層にフラ文化の意識向上や郷土愛の醸成。

第2弾「全国学生フラフェスティバル2016inいわき」

参加した学生が仮設住宅や学校への慰問活動を通じて震災や原発事故から立ち直ろうとしている人々を勇気づける。

【情報発信力】

第1弾「いわきフラウィーク」

募集範囲 全国フラ関係者

協力実施者 主要各団体 10 団体 x10 人=100 人

参加者 50 団体 x20 人=1000 人

周知方法 主要新聞社（記者会見等）県内各 TV 局及びラジオ局

第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」

募集範囲 全国の大学・短大・専門学校等

協力実施者 青年会議所他

参加者 15 校 160 人

周知方法 前回参加校、ホームページ

6 実施団体の運営力強化（各200字以内）**【人材育成の観点】**

申請の第1弾「いわきフラウィーク」・第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」の事業を実施する事により他団体との連絡協議の機会が発生し、それぞれのイベント手法の研修に繋がり、活動ノウハウの獲得が見込まれる。

【ネットワーク形成の観点】

申請の第1弾「いわきフラウィーク」・市内各層の諸団体と協力して実施する為、新たなネットワークの構築及び情報の共有が図れる。

第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」・高校生から大学生までの連携が構築できる。

7 事業スケジュール（月ごと、箇条書き）

月	実施取組 1	実施取組 2
6 月	・「いわきフラウィーク」の制定及び具体的事業計画の決定・実施協力団体募集	
7 月	・参加団体募集	
8 月	・「いわきフラウィーク」実施	
9 月	・事業検証報告書作成	
10 月		・「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」の PR 及び参加団体募集開始
11 月		
12 月		
1 月		
2 月		・「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」実施
3 月		・事業検証報告書作成

※表が足りない場合は、適宜追加してください。

8 事業の実現性について（200字以内）

申請第1弾「いわきフラウィーク」は昨年度のサマーフラフェスティバルを実施してきた実績があり又いわきフラウィークとして期間イベントも昨年は市内大手スーパーのPRやステージ提供の協力もあり、既に市内各層各団体への協力要請も行っています。

第2弾事業については前回第2回イベントを成功裏に収めました。

9 事業終了後の展開・発展性（200字以内）

平成28年度以後も第1弾・第2弾事業については引続き実施予定で、将来は市の重要イベントに位置づけられるよう組織拡大を図る。財源も寄付金、協賛金、参加費等で確立させていく。

10 事業の先進性・普及性（200字以内）

実施取組第1弾「いわきフラウィーク」は、市内各層各団体と連携し参加団体や全国のフラ関係の情報を共有しつつ新たな全国規模のイベントのノウハウが構築できる。

実施取組第2弾「全国学生フラフェスティバル2016inいわき」は、まだ組織が弱い学生フラ愛好家の先進地としてのモデルとなる。

11 特記事項（アピールポイントなど）（200字以内）

昨年度開催したサマーフェスティバルは、市内外及び海外からフラ関係者の参加もありネットワークの醸成に繋がった。この活動を週間イベントとして発展させ事業組織拡大をめざし、今年度からオールいわきの体制で事業展開する。

12 その他の助成金について

① 当該申請事業について、他の助成金も受けている。 答えが「はい」の場合のみ②へ	はい/いいえ
② 他の助成金を受けているが、当該申請事業と明確に区別することができる。	はい/いいえ

※ 他の助成金を受けた事業と明確に区別することができない場合は応募できません。

第3号様式（第4条関係）

ふるさと・きずな維持・再生支援事業 収支予算書

申請者名 特定非営利活動法人フラガールズ甲子園

※フラガールのふるさといわき推進事業

第1弾「いわきフラウィーク」以下①と記載

第2弾「全国学生フラフェスティバル 2016in いわき」以下②と記載

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	1,000	① 有償パート1か月 50,000x2人 x5か月 ② 有償パート1か月 50,000x2人 x5か月
報償費	60	講師謝礼（交通費含む）①30,000 ②30,000
旅費	70	② 70,000 学生達の打合せ等
需用費 a1+b1+c1	1,750	
消耗品費 a1	150	各種記録ファイル、用紙など ① 100,000 ② 50,000
燃料費 b1	100	① 参加者の送迎 ② 被災地案内リース代等
印刷製本費 c1	1,500	街頭フラッグ、募集チラシ、封筒、プログラム、DVD印刷 ① 1,000,000 ② 500,000
役務費 a2+b2+c2	160	
通信運搬費 a2	100	電話、ファックス、郵送費等 ① 50,000 ② 50,000
手数料 b2	10	① 5,000 ② 5,000
保険料 c2	50	① 25,000 ② 25,000
使用料及び賃借料	2,500	① 会場使用料
委託料	1,600	① 1,200,000（会場テント他 音響・椅子・ステージ等） ② 400,000（音響照明、写真、ビデオ作成等）
A. 支出合計	7,140	千円未満切捨

【自己資金の部】※自己資金は支出合計の2割以上が必要です。

(単位：千円)

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
自己資金（負担者名）	670	
寄付金等	670	
その他収入	960	
事業収入	960	②参加費 6,000 円 x160 人
B. 自己資金合計	1,630	千円未満切捨

【補助金交付申請額】 5,510 千円 (A. 支出合計 - B. 自己資金合計)

- 注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。
- 注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。